

## 決 議

日本は世界に誇る医療保険制度の下で、最高水準の健康寿命を維持している。

しかし政府は、医療費増大こそが国家財政悪化の元凶であると決めつけ、公的保険の給付制限を強化する医療費総枠規制策を打ち出してきた。その上、自らの失政のツケを更なる患者負担増という形で国民に押し付けようとしている。

このような財政至上主義を敢行する政府の姿勢は、歪行そのものである。即ち、国民の健康を願うという社会保障の理念は完全に欠落し、弱者を切捨て、日本の医療制度を崩壊寸前の危機的状況に立ち至らせている。

我々には、全ての国民が安心して良質の医療を等しく受けられる優れた医療制度を守り、発展させていく責務がある。かかる状況に鑑み、我々はここに、決意を新たにして左記の事項を強く主張する。

### 記

- 一、世界に冠たる日本の皆保険制度を堅持する。
- 一、総枠規制等の低医療費政策導入を断固阻止する。
- 一、制限医療や差別医療そのものである混合診療の無秩序な全面解禁は断固阻止する。
- 一、良質で安全な医療提供のために国の責務で確固たる財源の確保を要求する。
- 一、国民の健康を守るため患者負担の軽減を要求する。
- 一、不合理を極める消費税増税の解消を強く求める。

右、決議する。

平成十七年九月十日